

令和3年度 学校環境緑化リーフレット

おかべの杜の物語

～地域と共に育むおかべの杜～



埼玉県深谷市立岡部中学校



【1】岡部中学校 環境緑化の歴史

おかべの杜（もり）には、50余年にわたって地域の方々が育んできた物語があります。
 普段、なにげなく涼をとる木陰にも、多くの人の思いがこめられています。
 岡部中学校の環境緑化の歴史を紐解くと、そんな地域の方々の思いが見えてきます。

昭和41年	4月 1日	岡部・榛沢・本郷3校を統合し、岡部中学校開校
昭和43年	9月 1日	分教場より現在地に移転、開校式
昭和43年	12月 1日	町制施行により、岡部町立岡部中学校とする
昭和44年	3月	校歌碑建立（43年度PTA）
昭和52年	4月26日	学校緑化コンクール 県入選
昭和52年	11月 7日	静心園（岩石園）完成 (49・50・51卒業記念)
昭和54年	4月15日	玄関前噴水池完成（53年度卒業記念）
昭和55年	2月20日	まなびやの園 完成 (54年度PTA・生徒会)
昭和58年		体育館南側花壇 完成
昭和58年	11月	埼玉県学校緑化コンクール優良賞
昭和60年	3月28日	岩石園完成(昭和60年度卒業生)
昭和61年	8月31日	教室棟南側花壇完成 (60年・61年度PTA)
平成 元年	10月 8日	第1回 コスモス祭り開催される
平成 4年	3月10日	増築校舎完成（PC教室、多目的室等） 中庭花壇完成（PTA奉仕作業）
平成 5年		埼玉県学校緑化コンクール 優良賞
平成 8年	3月31日	部室棟完成
	11月30日	統合30周年記念式典、中庭駐車場、校門完成
平成16年	4月 1日	学校評議員の配置
	10月24日	第59回国民体育大会秋季大会 銃剣道競技会会場となる
平成19年	10月	学校緑化コンクール参加 134種の同定実施 樹名板作成
平成23年	5月31日	岩石園修復工事
平成23年	7月25日	花はなプラン 「岡中ふれあいガーデン」完成
平成24年	11月 7日	庭園灯改修
平成27年	10月31日	創立50周年記念式典・祝賀会
平成30年	10月	給食室完成 北側駐車場造成
令和 3年	9月13日	埼玉県学校緑化コンクール優秀校 全日本学校関係緑化コンクール（学校環境緑化の部）県代表参加



【2】岡部中学校の環境緑化の取組

～おかべの杜（みどり）を育むプラン～

（1）学校環境緑化に係る方針・目標

【学校経営方針】地域に愛され信頼される「新しい時代」の学校づくり

【緑化経営目標】地域と共に育むおかべの杜（みどり）

【緑化経営方針】

岡部中学校は、今年、開校 56 年目を迎えました。

地域と共にある学校として、これまでも学校応援団、学校運営協議会等、地域とのつながりを大切にした学校づくりを推進してきましたが、令和 2 年度からのコロナ禍により、こうした地域とのつながりが薄れることが心配されています。

岡部中学校では、学校を取り巻く地域の環境や歴史について学び、学校・家庭・地域が一体となって環境緑化活動に取り組むことを通して、地域を大切に、持続可能な社会づくりに貢献することのできる「学校づくり」「ひとづくり」を推進します。

（2）長期計画（学校緑化管理方針と管理上の課題）

- ・グリーンアドバイザー（元 P T A 会長・詳細は後述）の助言をいただきながら、学校運営協議会、学校応援団と協議、市教育委員会と調整の上、長期整備計画を策定・実施しています。

- ・校庭周辺の木々は暑い中でも涼をとることができ、部活動の生徒には欠かせない存在です。一方で、気候変動による台風等の大型化により、強風による倒木の危険性も高まっていることから、令和元年から 5 ヶ年計画で高木・老木を中心に伐採・強剪定を行っています。

しかし、高木が多く、本数も多いため、費用がかさんでおり、計画通りに実施できていません。

- ・校庭の樹木や花壇の日々の管理は、清掃活動や緑化委員会を中心とした委員会活動、6・7 組（特別支援学級）生徒による作業学習などで行われています。

また、市の事業である「ふかや花はなプラン」による「ふれあいガーデン」の整備は、毎年 6 月・10 月の 2 回にわたり行われています。今年、10 年目を迎え、環境緑化に大きな役割を果たしています。

- ・管理棟南側、グラウンドの手前には、記念植樹や様々な団体から寄贈された樹木が植えられた「ふれあいの杜」となっています。木々の間には芝生もあり、散策できるようになっていますが、樹木が増え、成長するにつれてスペースが狭くなっていることから、整理を進めています。

（3）今年度の活動・計画

『地域と共に育むおかべの杜』

～地域を大切に、持続可能な社会づくりに貢献する「学校づくり」「ひとづくり」の推進～

今年度、岡部中学校は上記の研究テーマにより、日本教育公務員弘済会埼玉支部の学校研究助成を受け、研究実践に取り組んでいます。

これまで取り組んできた学校環境緑化活動を継続するとともに、SDG s や iPad の活用など、新たな活動にも取り組んでいます。コロナ禍の影響も大きく、令和 2 年春秋・令和 3 年春の地域協働作業は中止となりました。



～おかべの杜（みどり）で学ぶということ～

岡部中学校で学ぶということは、おかべの杜で育つということ。

父母や祖父母が植えた緑、大きくがっしりと育った木々に囲まれ、地域の方々が手作りしてくれたベンチに座る。

暑い夏には涼をとり、時には雨風をしのいでくれる大きな木々。

そんな緑に囲まれて育つ中で、おかべの歴史、地域の空気が身体に染み込んでくる。

それは、優しく素直で、しっかりと大地に根を張った生き方を身につけるとのこと。

そんな思いを重ねて育まれた「おかべの杜」をこれからも大切にしていきたい。



【3】岡部中の取組について

今年度、岡部中学校は「新しい時代のおらが学校づくり」をテーマに、「地域に愛され信頼される『新しい時代』の学校づくり」に取り組んでいます。

本校のプールサイドを飾るシートには「地域と共に」の文字が掲げられていますが、地域の3つの中学校を統合し、畑の中に建てられた学校は、開校から56年目を迎え、いつしか大きな緑に囲まれた豊かな環境の学校となりました。

開校（統合）後、平成18年まで、本校は町にただ1つの中学校でした。そのため、様々な町の行事が学校の施設を使って行われ、緑化を含む学校の環境整備は、町の大きな支援を受けながら進められてきましたが、合併後は、新しく地域に移ってきた住民も増え、学校を取り巻く環境も大きく変化しました。

そうした中、岡部中学校の生徒たちは、先輩たちより受け継がれてきた伝統として環境緑化に取り組み、地域の方々との関りを深めてきました。そうした取組により、育まれた生徒の勤労精神や環境、緑化への関心は、本校の大きな「強み」であると考えます。

現在、岡部中が取り組んでいる学校環境緑化の取組は、このような考えに基づき、改めて、地域と共に学校の環境を整備する体制を整える「学校づくり」と、将来、地域の担い手となる生徒を育てる「人づくり」を進めようとするものです。

今後は、その「強み」を生かしながら、岡部中学校の豊かな緑が、将来にわたって学校の重荷となることのないよう、持続可能な環境緑化の仕組づくりを進めていきたいと思ひます。

コロナ禍の厳しい状況は未だその出口がはっきりとしない厳しい状況にありますが、これからも、学習や部活動などの学校生活を充実させるとともに、この豊かな緑の中で、生徒がのびのびと活動する明るい未来を思い描きながら、学校環境緑化に取り組んでいきたいと思ひます。



手作りベンチに整然と並べられた部活動の道具。「おかべの杜」の伝統が生きている。



■裏表紙写真 コロナ禍による分散登校の生徒を見送る職員(R2.5.29)
 グリーンボランティアの皆さんと花壇の植え替え (R1)
 藍の栽培・藍染め体験 (R2)

■表紙写真 おかべの杜で涼をとる(陸上部・R3 夏)



岡部中学校は今年、開校 56 年目を迎えました。
 コロナ禍の厳しい状況の中、地域とのつながりが
 薄れることが心配されていますが、岡部中学校を
 取り巻く環境や歴史について学びながら環境緑化
 活動に取り組むことを通して、地域を大切に
 持続可能な社会づくりに貢献することができる
 「ひと」の育成に取り組んでいます。